

各町村議選舉狀勢

小島部落は……

加藤佐藤の兩氏接戦

内郷の選舉は明日

兩氏共に落すなごの意嚮

石城郡内郷村の村會議員選舉は、愈々明日執行される筈で、既記の如く定員卅名に對し三名の超過を告げて居るが、平町と最も近接して居る小島部落からは加藤丈夫、佐藤三平の兩氏が名乗りを擧げて、猛運動の最中である。佐藤氏は從來の公共的の意味からの義侠心が篤く、村民の信望を一身に集めて居る一方、加藤氏は現村議として人格識見共に裏書濟みであるばかりでなく、平町との連繫にも密接な立場に在るので、兩氏共々當選せしめ度いとの意嚮が専らであるが、村内の空氣から見て、大接戦を演じて居るから、仲々樂觀を許されない。

勢力が伯中

植田選舉況

廿九日執行される、植田町の選舉は現在の十二名に六名を増加し定員十八名となつたので、相當新顔も見られるべく混戦を免れぬものと觀測されてゐるが、殊に目下政民相伯仲の状態故、双方共少々無理押をするとも過半数の十名は獲得する決心で進むらしく、勢ひ一名宛都合二名の超過を見る模様である。双方一名宛落とすれば九對九となる譯で、それでは面白からず、充分なる計劃の下に策戦をめぐらさねばならぬ場合であり、政争激甚な地帯を以て開けてゐるに拘らず、斯うした關係から、實際立つた活躍ぶりを見せぬが、潜航艇式な策謀は頻りに行はれてゐる。十日前後には、弗々名乗りを上ぐるに至るべく、刻々緊張味を加へてゐる。尙豫選會において確定せるものは、大字野添大平菊三氏(政)一人のみである。

競争が激烈

湯本二名超過

石城郡湯本町議立候補の顔觸れは、鯨岡愿道、松繁庄一、比佐藤造、鬼澤八百松、大和田主馬造、宮本正造、鯨岡誠祐、木村徳三郎、渡邊長作、矢吹壯司、村七六平、宮本利一郎、石川徳壽、矢吹佐市、小糸大次、若松孝平、比佐賢司、鯨岡賢司、小野福次郎、川上才松の二十名で二名の定員超過を見十二日の選舉までには、尙一二名

平窪村候補者

石城郡平窪村議選舉は十一日執行されるが、定員十二名に對し十三名立候補したその顔振れ左の如し

幕の内吉川丈助、中鹽矢吹初彌、四ツ波小野清太郎、下平窪木田源三郎、鈴木勇、小野久四郎、中平窪福田國吉、高秋森之助、松本徳一、上妻萬治郎、上平窪鈴木重治郎、金成徳治、國府田鐵一郎

永戸村當選者

石城郡永戸村にて六日執行された村會議員當選者左の如し
三九葉谷新作、三九合津音一、三四鈴木富太郎、同草野長吉、三二阿部喜左衛門、二五萩野傳次郎、二四萩野譽男、四四合津保見、三七鈴木石之助、三五吉田鶴治、三〇阿部金藏、二七合津代吉、(次點) 二四柴崎佐七、一六草野國亥、一柴崎寅吉

二坂當選村議

昨日石城郡三坂村々會議員當選者左記の如くである
三五熊谷直義、三三永久保徳治、三三折内七藏、二七會田政治、三〇馬目半重郎、二九吾妻文治、三三渡邊三郎、四二佐藤徳太郎、四〇葉谷伊平治、三九佐藤嘉吉、四〇吉田仲治、二九田子英吉、(次點) 二四大谷安之助、二二葉谷辰吉

植田蘭市場

十五日蘭市

植田町蘭市場春蘭買入は十五日より開始する事となり、各製糸家筋に案内状を發したが、生産家の自覺により、逐

内容を整へて

植田町蘭市場春蘭買入は十五日より開始する事となり、各製糸家筋に案内状を發したが、生産家の自覺により、逐

大減少を來す

平局の郵貯額

平局における五月中の郵便貯金取扱高を見ると、預け入は口數九千二百四十一、その金額十八万二千九百二十五圓十七錢であるが、これを前年の同月に比較して見ると、十一萬六千七百餘圓の減少を示してゐる。斯かる大減少を示した譯は、昨年五月が例の財界動搖で銀行が續々休業した結果一にも二にも郵便局々々の窓口口に現れたものが、今年には財界も比較的安定し銀行取引も何等不安を感じなくなつたため、局の窓口も自然閑散を告げるに至つた結果である。

設置を獎勵

相當成績を擧ぐ

石城郡下の農事實行組合は左記の如く各組合は農事施設の實行を期しつゝ、ありて相當成績を擧げてゐるに鑑み、石城郡農會では今回山田村、入遠野、田人組合村、夏井村、鹿島村、永戸村、大浦村、四倉町の未設置町村に對し、極力勸奨し、尙植田町、川部村、豊間村、下小川村の組合の少い町村に對しても、設ける様通牒を發した組合数は左の如し
▲泉村三四、渡邊村六、植田町一、錦村一六、勿

苗代が枯死

水を汲入れ 急場を凌ぐ

過般石城地方を襲つた水害のために、内郷方面一帯に灌漑する用水路の堤防が潰壊し、未だ復舊せぬので、同村の苗代は何れも枯死の状態にあるが、各農家で、堀や溝から悪水を汲み入れ辛うじて急場を凌いで、始末に郡農會では同村農會と協力して復舊工事を進め、事となつたが、急速に行はなければ、苗代は全部枯死するので、農家では一日千秋の思ひで、通水をまつてゐる。

音沙汰なし

受取つた儘

現金三百九十圓
平町大町七鈴木彌米は三日午前十時頃、田町株式仲買人駒場四郎方に至り、磐城炭礦の株券卅株の買受方を周旋すると稱し、現金三百九十圓を受取つた儘音沙汰がないと平署に告訴する。

明日の天気

北寄の風 曇後驟雨 模様

米價が昂騰

最高値は中旬頃

出廻り薄で 石城郡地方の米價は頃日來漸次好調を示し、去五日の定期時價調査に於ける相場は、地元産米(無検査)一石廿六圓六十五錢、移出四等(標準米)廿八圓廿五錢、前月同期の無検査米廿五圓七十錢、移出米四等廿七圓卅錢に較べれば、何れも一石に付九十五錢を昂騰した原因は、持米薄と農繁期で出廻り不足を呈して居るからであるが、現在の上値が同時まで續くかは、頗る疑問で、持米薄とは云ふものゝ在米は前年より

平署五月中

犯罪檢舉

減じてゐないから、今月中旬頃が最高値であらうかと觀測されてゐる。
平警察署管内に於ける五月中の犯罪檢舉件数は、百二件の多きに達し、一日四件弱の犯罪が檢舉されてゐる。この犯罪の中の重なるものをあげれば、最高は窃盜の三十四件、次は詐欺の二十三件で、自動車取締違反七件、横領五件、妨害七件、毀棄隠匿罪五件、賭博二件等であるが、暴行、齒科醫師法違反失

捕鯨成績

十日足らず

石城郡小名濱町小名濱港を根拠地とし、近海の捕鯨事業に従事してゐる東洋捕鯨會社では、去月廿八日から今年度の事業に着手してゐる事、既報の如くだが、今年度の事業經過は、頗る良好で、僅に十日

水害地視察

農林省技師

農林省技師芝池眞吉氏は、縣大澤支那同件六日、石城郡下

四倉初町會

委員選定外數件

石城郡四倉町の選舉後、初町會は八日午前九時から招集し、左の議案を附議する筈
一、四倉町會議員規則改正の件
一、四倉町會傍聽人取締規則設定の件
一、四年度縣稅家屋稅賦課方法決定の件
一、前町長退職慰勞金贈呈の件
一、山野委員選任の件
一、臨時出納検査立會人選出の件
一、漁港修築實行委員選任の件
一、公用地調査委員選任の件